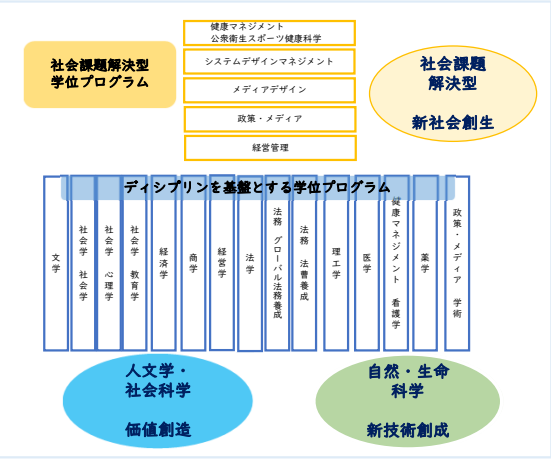


未来社会のグランドデザインを描く博士人材の育成プロジェクト (慶應義塾大学)



研究連携推進本部を核に、14研究科を横断する仕組み（採用数：21年度203, 22年度263）

- ビジョン**
高い研究力に加え、人や社会の営みそのものへの深い理解に基づき新しい価値を創造する力、解くべき課題を発見する力、そして、限りある資源を適切に配分して解決につなげる力の涵養を図る。
- コンピテンシー**
- 現場において解決すべき課題そのものを自ら発見できる能力・資質
 - 人文学・社会科学の蓄積に基づき、前例なき社会において価値そのものを創造する能力・資質
 - 理論の修学と研究を通じ科学技術や科学的知見を創成する能力・資質
 - 多様な関係者と議論や社会への働きかけを通じて社会資源の適切な配分を行い、多様性があり持続可能な社会を実現する能力・資質

1. グローバル・リーダーシッププログラム

●担当：システムデザインマネジメント研究科

社会システムがSystem of Systemsであることを理解し、システムの複雑性を学び、システム思考とデザイン思考により解決策を探るアプローチを通して、リーダーシップの階層性を理解する。

●導入コース(半日・全員必修)

- 21年度 秋 124名受講
- 22年度 春 53名(日)受講
- 30名(英)受講
- 秋 2回開催予定

●(22年度新規)

- SDM大学院正規科目(英語)のSPRING学生への履修提供
 - ※ 秋学期(Fall): Introduction to System Design and Integration (英)
 - ※ 春学期(Spring): System Architecting and Integration (英), System Verification and Validation (英)
- 新規ワークショップ「システムxデザイン思考」

- ### 5. 情報・データサイエンス・AI関連科目の履修
- 修了までに1科目以上必須
- ✓ 大学院レベル(修士課程含む)の関連科目を履修(正規の授業科目またはそれに相当する認められる科目)1科目以上必須
 - ✓ 分野や領域に応じて、適切と思われる関連科目であれば申告可
 - ✓ 本奨学生採用前、博士課程入学前、あるいは慶應義塾大学以外の大学院での履修でも、正規に単位を取得していれば該当
- 分野外でも履修しやすい推奨科目を紹介(各学期の履修登録必要。人数制限あり)
- (人文系)
- ① 文学研究科 人文学研究の方法論II(デジタル・ヒューマニティーズ) 秋学期科目(健康・医療系)
 - ② 健康マネジメント研究科 基礎疫学 春学期(前半)科目
 - ③ 同 基礎生物統計学 春学期(前・後半)科目
 - ④ 同 臨床試験方法論 秋学期科目
 - ⑤ 医学研究科 医学統計学 春学期科目(AI)
 - ⑥ AI・高度プログラミングコンソーシアム講習会(受講完了により、申告可)

キャリア開発・育成コンテンツ PhD Professional Development Pathways Platform

文理・超領域対話の場
Forum for Trans-disciplinary Dialogue

多様な関係者と議論や社会への働きかけを通じて社会資源の適切な配分を行い、多様性があり持続可能な社会をデザインしマネジメントすることを修得する場
(community and communication, policy, management and design)

人文学・社会科学の知の蓄積に基づいた前例なき社会への新たな価値創造を探る場
(value creation)

科学・技術の基礎的・応用的能力を修得する場
(science and technology)

メンタリング
Mentoring
学内：複数の研究科で活動している学生や指導教員、卓越教員や複数の学位をもつ教員、等
学外：企業、NPO、社会起業家、公的セクター

社会との対話の場
Forum for Dialogue with Society

産業界、公的セクター、NPOとの連携・インターンシップ

ベンチャー育成

4. トランスファーラブル・スキル
社会の幅広い局面で活躍するために必要なスキルの修得を支援。

知財戦略
研究データ管理
情報活用
研究倫理、個人情報保護

- ### 2. アート表現/デザイン/コミュニケーションプログラム
- 社会学研究科、文学研究科、政策メディア研究科、慶應義塾ミュージアム・コモンズ
- 自己と自己、分野をまたぐ研究者と研究者、社会という3つのコミュニケーションを体験・実感することを通じ、直感・感性を培い研究自体に想像力をもたらす
- 導入コース(講演形式/動画提供・全員必修)
- 21年度：3本の動画を公開
- Art of Science Since and AI: Challenges and Controversies
 - Social Design: Designing for a Sustainable Society
 - コミュニティのデザイン 無目的な出会いから
- (22年度新規)
- 社研新規大学院科目「プロジェクト(JST)」のSPRING学生への履修提供
- (強くないデザイン: 正解からこぼれ落ちていくものたちへ) 本間友(KeMCo)
 - (VR/AR技術を使った医療と芸術体験の接点) 小泉明郎(アーティスト)
 - (潮が来ると、朝まで〇〇について語り明かす) 加藤文隆(政策・メディア研究科委員長)
 - (習習可習歴を歩く人と暮らすに近づく) 加藤文隆
 - (あいち国際芸術祭で、自分の研究に出会う) 岡原正幸(社会学研究科委員長)
 - (東日本大震災・原子力災害伝承館ツアー) 岡原正幸
 - (ドキュメンタリー映像をつくる) 小田浩之(映像作家)
 - (パフォーマンスアートをする) 菟田誠二(アーティスト)
 - (三田で歴史する) 山口順(文学研究科民権学)

3. 博士コロキウム

●主担当：メディアデザイン研究科

博士課程学生による未来をデザインする会議として、年一回開催し、環境や分野を越え、最先端研究とクリエイティブを通過して、社会課題に取り組む、20年後の社会を築く(全員必修)。ゴール1: 自分の研究が次の社会に及ぼすインパクトを説明し、20年後の理想社会を一緒に描く
ゴール2: 塾内博士学生をつなぐプラットフォームを構築する

●2022年3月6日オンライン開催。約30名が実行委員として計画段階から参加。全体として195名が参加し、交流。22年3月または9月で補助終了となる予定の31名が自身の研究について動画をプレゼンテーションを行った。

Keio Colloquium 2022 Summary

DATE: MARCH 6, 2022 (Thu day)
GENRE: Online
THEME: Designing Post-Pandemic Society

AM: 10:00-10:05 Opening (15 min)	PM: 13:00-14:00 PhD Research Fast Forward (70+100)
10:05-10:45 Professional Talk (30 min + 20min Q&A)	14:05-14:15 Break
10:45-11:00 CEO/SDM GUEST (30min)	14:15-14:30 Co-Creation of Research Map
11:00-11:05 Break	14:30-14:45 Summary Presentation
11:00-12:00 Panel Session (60 min + 10 min Q&A)	14:45-14:55 Closing
Dr. Ichijo Makamura (President of Keio)	15:00-15:05 Conference Management e-site
Dr. Saito Shigeo (Vice-Chancellor)	
Mr. Paul Sully (Vice-Chancellor, Stanford U, Singularity H)	
Minister of News Release	
12:00-12:05 Lunch	

- ### 6. 産学連携人材育成フォーラム
- ✓ 分野・領域ごと(データサイエンス等)に、産業界と共同で人材育成フォーラムを開催
✓ 社会で活躍するキャリアパス構築を支える取り組みとして実施し、博士後期課程学生のキャリア形成の一助とする。また、SPRING学生に限定せず、広く、慶應義塾の大学院生(博士・修士)全員に参加を呼びかけ
- ✓ 21年度はデータサイエンスを主題に、オルタナティブデータ推進協議会の協力を得て開催
✓ 企業CEOやPhD取得後に企業で活躍する方からの講演のほか、1,2社がブースを開設して、PhD取得者のキャリアについて説明と質疑を実施(オンライン開催)
- 【プログラム】
日時: 2022年3月10日(木)
第1部
15:00-15:05 開会の挨拶
15:05-15:25 基調講演1 辻中仁士(株)ナウキャスト
15:25-15:45 基調講演2 Aram Zuzulani(株)Deep Data Research
15:45-15:50 休憩
15:50-16:10 慶應卒業生によるパネルディスカッション
マクリン 謙一郎 様(テンプル大学准教授) 他
- 第2部 企業説明会(オンラインブースで実施)
16:15-18:00 1セット15分(移動時間も含む) 7 回実施
- 【参加企業】
AWS(株)
キュースクエア・テクノロジーズ(株)
(株)Q&Q
国際航業(株)
大和アセットマネジメント(株)
(株)Deep Data Research
(株)東京証券取引所
(株)ナウキャスト
一般財団法人日本気象協会
(株)hands ファクトセット
三井住友トラスト・アセットマネジメント(株)
明治愛田生命保険相互会社

キャリア開発育成支援
Career development

海外交流
Overseas activities
人間交際・コロキウム
Doctoral colloquium
グローバル・リーダーシップ